

国際ロータリー第2560地区
ガバナーテーマ

「楽しいロータリーで
つながろう」

高田ロータリー今年の
スローガン

「地域、次世代と共に、
明るく！楽しく！！朗らか！！に
奉仕を実践しよう」



2019～2020年度

国際ロータリー会長 マーク・ダニエル・マローニー

2560地区ガバナー 大谷 光夫

高田ロータリー会長 高坂 光一

幹事 高橋 正彦

事務局：新潟県上越市西城町2-10-25 大島ビル201号

TEL (025) 526-3288 FAX (025) 526-3534

メールアドレス：takadarc@joetsu.ne.jp

例会場：デュオ・セレッソ TEL (025) 526-3111

クラブ広報・会報・雑誌委員

加藤 公一 宮川 大樹 藤林 陽三 山田 守
木村 隆

第24回例会 ■ 1月17日(金)

No.24

会長挨拶 ● 高坂 光一



はじめに嬉しい報告をします。昨
年から申請をしていた「高田さくら
ロータリー衛生クラブ」が1月8日、
無事 RI から承認されました。

今日は1月17日、1995年の阪神淡路大震災から
25年が経ちました。

尼崎～神戸、宝塚方面は社会人なり立ての私が
担当をした思い出深い土地でした。あの朝、TV
から流れてくる、毎日使っていた阪神高速倒壊現
場、神戸やその周辺の悲惨な様子に不思議な感覚
を覚えたことが記憶にあります。更に後日、お世
話になった社長が下敷きになり亡くなったと知っ
たときは何とも言えない気持ちでした。

近年毎年のように起こる大規模自然災害、災害
時にはよく「公助・共助・自助」という言葉が使
われますが、これだけ頻発、もしくは昨年の台風
被害や東日本大震災のように同時広範囲で発生し
てしまうと、救援支援を期待する自衛隊・警察・

消防を含む行政機関の皆さんの体力・機動力も限
界に達すると同時に、彼ら自身も被災者となる可
能性が高くなることを認識していないといけな
いと考えます。

まだ年が明け間もないこの時にこのような災害
の話はふさわしくないかとは思いますが、皆様
には「自助」、自分の身は自分で守るを今一度心
に刻んでいただきたいと思います。

出席報告

出席率 92.45%

委員会報告

親睦委員会——1月の会員お誕生日 各お祝い

会員インフォメーション

渡邊 隆君——メンタルヘルス向上アンケート調査
のお願い(上越教育大学大学院心理臨床コース)

幹 事 報 告

配布物：週報No. 23

回覧物：高田さくらロータリー衛星クラブ認可通知
報 告：高田さくらロータリー衛星クラブ申請承認について（1月8日付）、上越海事セミナー冊子について

2月例会プログラム

回	日	講演者：演題	会 場
27	2月7日	オークション＜夜例会＞	高田ターミナルホテル
—	2月14日	祝日振替休日	—
28	2月21日	卓話 フリーアナウンサー 伊勢 みずほ様 演題 未定	デュオ・セレッソ
29	2月28日	3クラブ合同例会＜夜例会＞ 高田RC・直江津RC・越後春日山RC	デュオ・セレッソ

会長卓話 パキスタン ポリオプラス活動報告



高坂 光一 君

1985年からRIが世界規模で取り組んできた「ポリオ根絶」も、あとアフガニスタン、ナイジェリア、パキスタンの三か国を残すところまでできました。もう一息です。

RIでの最大の事業は、根絶のためのワクチン投与に必要な資金を皆様の寄付に募ることで、私たちも毎年30\$寄付していますが、私自身いまひとつ実感が湧かないことから、昨年2月のインドデリーに続き12月のパキスタンカラチの投与活動に参加し、ワクチン投与の現場体験と、現地で支えるロータリアンとの懇談をしてきました。

今回はパキスタンで12/16から全国一斉予防接種週間(NIDs)にあわせた活動への参加でしたが、良い経験をさせていただきました。途中、宗教上、文化による理解不足等で断られることも多く、現地のワーカーの皆さんのご苦勞、努力を感じましたが、決して豊かにない環境の子供たちの様子にこの活動の価値を垣間見た気がします。

文字数の都合で今回はここまで。この後はガバナ一月信3月号に投稿予定です。ご一読いただければ幸いです。

